

兵高教組
調査情報
 2022年5月16日 1号

兵庫県高等学校教職員組合調査部
 TEL : 078-341-6745
 FAX : 078-351-3185
 URL : http://www.hyogo-kokyoso.com
 mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

「憲法が息づく社会の実現、そのための教育を」
高教組委員長呼びかけ



「従来の労使慣行を尊重するとともに相互の信頼関係を大切に」
教育長回答

2022年度教育長交渉

4月25日(月)、女性交流館にて教育長交渉が行われ、従来の労使慣行を尊重するとともに、相互の信頼関係を大切にしながら、今後とも進めていくことが確認されました。

「対話による世界平和の希求を」

県教委 藤原俊平 教育長あいさつ(抜粋)

ウクライナの主権、そして領土を侵害するような戦争というのはあってはならない。国際間のまさに法の秩序、そして対話による世界平和、これを希求していかなければなりません。

コロナが確認されて以降、2年と2ヶ月が過ぎようとしています。コロナ感染防止対策の徹底はもとより、児童生徒の心のケア、またきめ細やかな学習支援、学校行事へのきめ細やかな対応など、これまでのいろいろな工夫に対しまして感謝申しあげたいと思います。

今年度も県教育委員会では従来の労使環境を尊重いたしますとともに、相互の信頼関係を大切にしながら相互理解を深めながら各種の課題に誠意を持って対処していきたいと考えております。

「子どもたちと教職員の幸せのために

奮闘したい」

高教組 小野泰司 中央執行委員長あいさつ

37年間働いてきて、教育とは何か、今感じていることを少しお話させていただきます。

教育とは何か、いろいろ考えましたが、結果としてはごくありきたり、教育とはきっと未来を作る営みなんだろうと思います。教育は、個人の未来を創りますが、同時に、地域社会や国の未来もつくっていきます。高教組はこの30年間、地域に根ざした学校作りをスローガンに取り組みを進めてきました。地域社会にとって教育、そして学校がいかに大切か、私たちは震災を通してそのことを身に染みて感じましたし、自治体キャラバンなど、立場を超えたいろいろな人との懇談の中で、少人数学級の必要性とともに、地域の方々の地元の学校へ寄せる期待を実感してきました。

ですので私たちは、今回発表された高校統廃合には反対ですし、むしろ今こそ、高校でも少人数学級の実現をと、強く望んでいます。

教育は未来を作りますが、どのような教育をするかによって、その未来は大きく変わってくる、そのことは歴史が証明しています。「この理想の実現は、根本において教育の力にまつべきものである」

わたしの大好きな、前の教育基本法の前文の一節です。日本国憲法が息づく社会の実現、そのための教育でありたい、心からそう思っています。

今年度もさらに信頼を積み上げて、子どもたち、そして教職員の幸せのために奮闘したい、その決意を申し上げてあいさつとします。

「安心できる職場づくりのために」

赤松弘基 書記長

ハラスメント問題は残念ながら県下で未だに続発している状況です。また、残念ながら、管理職の危機管理や問題意識の低さから事態がこじれるケースも散見されています。どこの職場でも起こりうるこの問題に対してきちんと解決できる指導力を県教委としても管理職や主任部長クラスの教員への研修などを通じて育成していただきたい。

また4月から本格実施となっている「サービスシステム」も、教員の働き方になじまないログオンログオフの煩雑さ、他人の個人的事情による動静が閲覧できること、定時にシャットダウンでは定時退勤できない、そもそも着任時にパソコンが準備されていない等、現場は大混乱しています。実態に見合った勤務管理方法を検討していただきたい。

その他、コロナ感染拡大、学校統廃合、超勤問題などについても要求しました。

「賃金大幅削減提案の撤回を」

福田純次 従組委員長

昨年確定交渉では、我々従組に衝撃が走りました。

その内容は給与構造改悪による年収約100万円減という本当に恐ろしい提案でした。現在も交渉継続中ではありますが、我々技能労務職員の生活を守り、家族を守り、一日も早く安心して学校の為に集中して働けるよう、我々の要求にそった回答を求めます。

これまでの制度変更や従組独自の課題に対しては、労使間の交渉にて決めて参りました。今後もその良き慣行を尊重していただき、丁寧かつ誠意ある対応をお願い致します。

「東播磨地域での早期新設実現を」

中西園枝 中央執行副委員長(障教組委員長)

豊岡聴覚と出石特別支援学校との統合問題についてです。2023年度統合案の見直し、本当にありがとうございました。ぜひとも保護者や教職員の意見をしっかりと聞き取っていただき、子どもたちにとってよりよい学校づくりはどうぞご支援いただけますようお願いいたします。

また、県下他地域での過大過密も待ったなし状態になっています。とくに東播磨地域ではいなみ野、東はりまでは多くの特別教室が普通教室に転用され続けています。障害を持った子どもには特別教室がいないわけはありません。令和6年以降の検討では待てません。新設早期実現をお願いします。

その他、介助員、学習支援員の待遇改善、寄宿舎職員採用についても要求しました。

「労使慣行を尊重し、信頼関係を大切に」

教育長回答(抜粋)

従来の労使慣行を充分尊重して参ります。そして相互の信頼関係を大切に、これまで同様、お互いの理解を深める中で誠意を持って対処して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

